

全戸配布

龍江小学校創立 150 周年記念誌申込み (二次案内)

龍江小学校 150 周年記念実行委員長 市瀬 協治
龍江小学校長 大池 満

《スローガン 龍江の絆を未来につなぐ》

猛暑の候、皆様方におかれましては益々ご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。過日150周年記念誌の申込み案内を差し上げたところ、沢山の方に申込みをいただき誠にありがとうございました。また記念事業も順調に進んでおりますこと、感謝申し上げます。

その後地区外にお住まいの方を中心に、申し込みをしたいがというお問い合わせをいただいております。丁度帰省等の時期となりますので、ご家族・ご親戚・ご友人の皆様には是非ご紹介いただきたく、二次案内を配布させていただきます。

規格	A4版 100頁程度(カラー8頁)			
内容	I	発刊の言葉	II 写真で振り返る50年(カラーページ)	
	III	龍江小学校の今	IV 学校沿革・主な出来事と取組み	
	V	寄稿(思い出・これからの龍江小へ期待すること)		
	VI	学級のページ(在校生と現中1の子どもたちの集合写真とメッセージ)		
	VII	資料(児童数の変化、S49年度以降の卒業生写真等)		
	販売価格	1冊2,000円(税込み 500円程度の記念事業への協力金を含んだ価格です。ご協力をよろしく申し上げます。)		

※R4年7月現在の予定です。内容等については、今後変更が出る場合もあります。

◇ご希望の方は下記申し込み票を、9月上旬を目途に学校か自治振興センターまでお届けください。

連絡先 150周年記念事業事務局
龍江小学校教頭 桐谷 博
電話 0265-27-3039

龍江小学校創立 150 周年記念誌 申し込み票 (二次案内)

区	常会名	(1冊2,000円)
---	-----	------------

お名前	冊数	金額	連絡先(電話番号)

内容紹介

学校沿革・・・写真も数多く掲載

2 施設・設備が整った時期 (昭和49年度～平成3年度)

百周年以降、老朽化してきた施設の改修が相次いだ。昭和51年の体育館に続き、昭和55年には現在の校舎が完成した。校舎改築時に、その記念事業推進のため地区内外からの寄附を募ったところ、目標を上回る浄財が寄せられた。その残金をもとに「龍江小学校教育振興基金」が設けられ、その後も教育環境整備のために使われていくこととなった。また、それ以外にも、折々に縁の方々から寄附等が寄せられており、これも地力の高さの一つの現れである。

昭和49年	開校百周年記念誌発行 開校百周年記念碑並びに宮沢分校開校記念碑の建立と除幕式を行う 全教室にカラーテレビとOHPが設置される
昭和50年	PTAの協力により、中庭の花壇完成
昭和51年	地域一体となった請願署名活動により、体育館新築の見通しが立つ 体育館建設が始まる(7月取り壊し 9月地鎮祭 3月竣工式) 修学旅行が東海方面から東京方面へ変わる
昭和52年	米飯給食開始(9月)週1回の弁当持参を止める
昭和53年	全校詩集「たつえ」創刊される
昭和54年	校舎取り壊しと改築始まる(8月) 堀沢周三学校歯科医の寄附により、鼓笛隊が設置される
昭和55年	校舎完成(3月)
昭和56年	新校舎落成式・祝賀式(5月)
昭和58年	兎・小鳥小屋の新設 松尾克己氏より図書1000冊余りが寄贈される(松尾文庫)
昭和62年	プール浄化装置取り換え 旧龍江保育園跡地を校地に編入し、学校農園と駐車場とする 県道改良工事に伴い、校庭南側と西側の整備が行われる。 コンテナ室への道路拡張
昭和63年	玄関前、車回りに学校花壇を新設 校旗新調(学校教育振興基金)
平成元年	校取除幕式・龍の彫刻取り付け(学校教育振興基金) 管楽器購入(学校教育振興基金)、金管バンド発足 元校長住宅跡地に導水路をつけ、学校水田とする
平成3年	校舎改築10周年記念式典を行い、校舎改築10周年記念事業として以下の事業を実施する(学校教育振興基金) なかよしランドの整備 社会科資料室の整備 岩石園の整備 校門に新たな校名板取り付け(前沢茂人氏書) 校庭西へ土俵設置 塩沢實氏の寄附により図書購入 塩沢文庫とする



記憶に残る出来事の数々・・・

5 学校りんご園

平成12年3月、学校りんご園が開園した。これは元飯田市長故清水重美さんが「青少年の健全育成」に役立ててほしいと生前飯田市に寄付を寄せられた遺志を受けて、清水さんが初めてりんご栽培を導入した龍江地区に整備されたものである。「アップルキッズの森」と命名されている。

りんご栽培の管理については、「学校りんご園後援会」が担ってくれており、児童は春の摘果作業と秋の収穫作業(2回)を行っている。またPTA作業で草刈りの作業を行っている。

令和3年現在、秋映・シナノスイート・紅玉・ふじ・アルプス乙女が栽培されており、一部龍江保育園の子ども達も収穫を行っている。生食の他、ジュースに加工している。

りんご園後援会 児童代表あいさつ
〔一語一〕 私たちは、自分達のりんご園ができてとてもうれしです。経済の好景であるりんご、果物販売会が盛況にいらぬことを願っています。龍江小学校のシンボルになるよう、がんばっていきなさいと願います。
地元の農家の方々に寄付していただいた、ふじ、あけぼの、アルプスと他の食料16本の原木を、2月26日に無事、移植することができました。私たち5年生は作業していますが、何年かして小学校に来た時に、りんごの木が大きくなって、果実がりんごの葉を、たくさんつけているのを楽しみにしています。
〔一語一〕 (H11 卒業 宇津原希より)

H16 りんご園での花壇作業、りんごの木が小さく、空いた敷地にハンジュー等を植えていたと平成20年までは記録が残っている。

H23 収穫作業。脚立を使わないと収穫できないほど木が大きくなって、H19から、収穫作業が2回となっている。

R1 摘果作業。学校りんご園後援会の管理部門の方の指導を受けながら行っている。管理部門は、消毒や草刈り、剪定などを一手に引き受けてくださっている。

カラー写真で在校当時の思い出がよみがえります

